

宮崎のさかなビジネス拡大支援事業 (地産地消・食育活動支援) のご紹介



県では、「宮崎の豊かな食で育む生涯健康な暮らし」を目標に掲げ、本県の食育と地産地消を一体的に推進する「宮崎県食育・地産地消推進計画(第3次)」を令和4年2月に策定しています。

本県の海面漁業・養殖業は、かつお・まぐろ漁業をはじめ、地域の特性を生かした沿岸漁業や養殖業が営まれ、令和3年の海面漁業養殖業の生産量は全国8位となっています。

また、内水面養殖業の生産量については全国で3位に位置しており、特にウナギの生産量は、全国3位と上位を占めています。このように、本県は多種多様な水産物の供給県としての機能を発揮しています。

宮崎のさかなビジネス拡大協議会では、県産水産物の地産地消・食育活動にかかる支援事業を実施しています。本年の取組をご紹介します。

●めいつの魚ブランド化推進協議会

めいつ美々鰯のブランド化を行って7年目となる。県内消費拡大と認知度向上を目指し、日南市内の食育ティーチャー※に登録している学校支援地域コーディネーターの矢野富子さんと連携し、細田中学校1~3年生19名(5月1日)、大窪小学校4,5年生5名(5月18日)、南郷中学校1年生73名(5月26日,6月1日)、榎原中学校2年生8名(6月9日)の地元小中学生に美々鰯や日南の魚を知って、捌いて、食べてもらうことにより、地元の漁業や魚に興味を持ってもらいました。今回の取組を受けて、これらの小中学校では、地元の漁業や美々鰯などの水産物を継続的に学んでいく授業カリキュラムを作成することになりました。

※「みやぎきの食と農を考える県民会議」では、家庭や学校、地域等における食育・地産地消の推進を図るため、その牽引役となる食育ティーチャーを登録し、この方々を中心に地域のモデル的な食育・地産地消の実践・指導を行っています。

5月1日 細田中学校



5月18日 大窪小学校



■宮崎のさかなビジネス拡大協議会

6月2日 南郷中学校

6月9日 榎原中学校



●串間市漁協

串間市漁協では、地域水産業や地元水産物への理解を深めてもらうことを目指し、6月16日に漁協2階の調理室で有明小学校5年生10人と保護者9人を対象に、漁協概要や串間の魚について説明を聞いた後、魚とのふれあい体験として、マダコ（活）と触れ合い、即観察、キハダの解体見学後、トビウオの背開き体験、他具材（ブロック）の刺身づくりに取り組みました。

6月16日 有明小学校（於：串間市漁協）



■宮崎のさかなビジネス拡大協議会